



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2001. 6月号

さがむのくに 夏期特別展「相武国の古墳」予告

会期：7月20日（金）～8月31日（金）



平塚市真土大塚山古墳出土
「三角縁四神二獣鏡」

ただいま準備を進めている、夏期特別展「相武国の古墳」についてお知らせします。「相武国」は、「さがむのくに」と読みます。相模国が成立する以前に、私たち平塚の地が属していた国の名です。

相模の国名が文献に現れるのは、『日本書紀』の天武4年（675）の記録が初見です。律令社会が成立する以前の相模には、相武国の他に師長国（しながのくに）、それに鎌倉別（かまくらのわけ）の三つの勢力が展開していました。それぞれの勢力範囲は、相武国はおおむね相模川流域にあって、伊勢原に国造（くにのみやつこ）が置かれており、師長国は酒匂川流域、鎌倉別は鎌倉や三浦半島に展開されていました。三つの勢力が出現する背景には、大和政権が東国に進出してきた過程と深い関わりがあると考えられ、在地首長層の古墳造墓が活発に行われていました。

特別展では、南関東の前期古墳を代表する平塚市真土大塚山古墳をはじめ、その後の相模川流域に築かれた古墳の様相から、相武国の萌芽・展開・確立を展望します。さらに、この大きな流れを把握することにより、なぜ相武国造の本貫地から離れた平塚市四之宮に相模国府が置かれたのか、その要因を古墳を素材として考えてみたいと思います。

展示では、相武国の古墳資料を中心に、師長国や鎌倉別の代表的な古墳出土遺物なども交え、約50遺跡を紹介します。関連行事として、8月4日（土）にシンポジウム「相武国の古墳」を中央公民館にて、また遺跡見学会を伊勢原市と海老名市で予定しています。どうぞ、ご期待ください。

太陽の動き・星の動き

6月16日(土)～7月15日(日)

1日の太陽の動きと星の動きが同じであることはご存じですか？

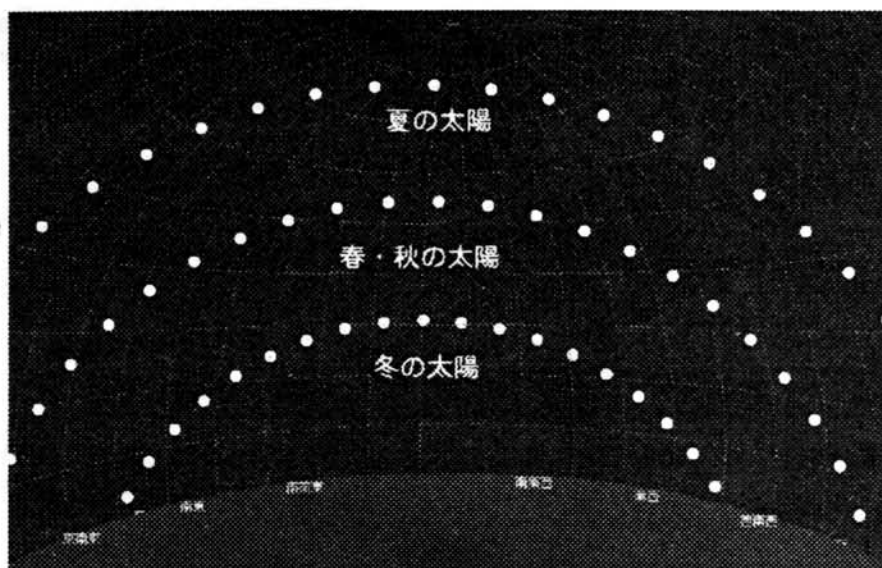
朝、東の空に昇り、昼に南を通り、夕方西に沈む、この太陽の動きは地球の自転によってもたらされています。これは星の動きでも全く同じですが、太陽が単独で動くように見えるのに比べ、星は全天の動きを見ることになり、ちょっと混乱してしまいます。プラネタリウムで太陽と星の動きを同時に見比べて、その動きの仕組みを理解してください。

●太陽の動き

太陽の動きは、毎日同じようにみえますが、その通り道は少しずつ変化します。この時期の太陽は最も北寄りを通ります。

冬、春・秋、夏の太陽の通る道筋をたどると、南の空での高さ（南中高度）も異なります。

冬（冬至）の太陽が最も低く、南中高度は平塚で31度ほどです。逆に夏（夏至）の太陽が最も高く、南中高度は78度にもなります。春・秋（春分・秋分）は冬と夏の間位置し、55度ほどになります。



太陽の動き（二至二分）(StellaNavigator Ver.5による)

★星の動き

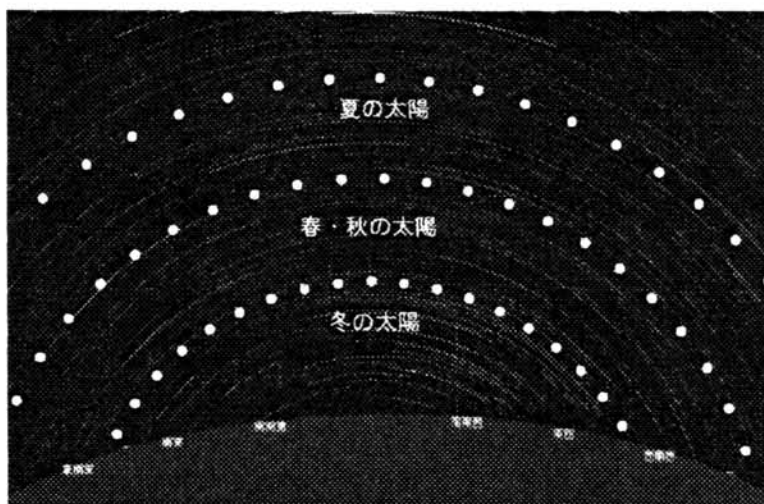
星の動きは、北の空の北極星を中心にまわっている、と習ったことを覚えていますか。

その動きは時計と反対のまわり方をしている、とか、東、南、西の星の動きと組み合わせて、空全体の星の動きがどうなっているんだろう、と考えたのではないのでしょうか。

実は、太陽の動きがそのヒントになります。太陽がいつの季節でも東から出て南の空を通過して西に沈む、という動きをするように、星もそれぞれの方角で動きが全く異なるのではなく、動きの中心からの距離でその描く道筋が徐々に変わって見えるのです。太陽もその動きは、星の動きと重ね合わせると、全く同じなのです。



北天の星の日周運動（実写）



二至二分の太陽と星の日周運動 (StellaNavigator Ver.5による)

火星 接近中

火星が地球と接近中で、夜おそく、南の空で明るく輝いて見えます。しかも今回の接近は「火星の敵」の意味の名を持つさそり座アンタレスの近くに見えるというおまけつきです。

火星は地球の一つ外の軌道を周る惑星です。軌道の大きさは地球軌道の1.5倍ほどなので、近い時と遠い時とでは大きな差があります。地球が火星を内から追い抜く位置の時に近くなるのです。このような「火星接近」は、およそ2年おきに起きます。

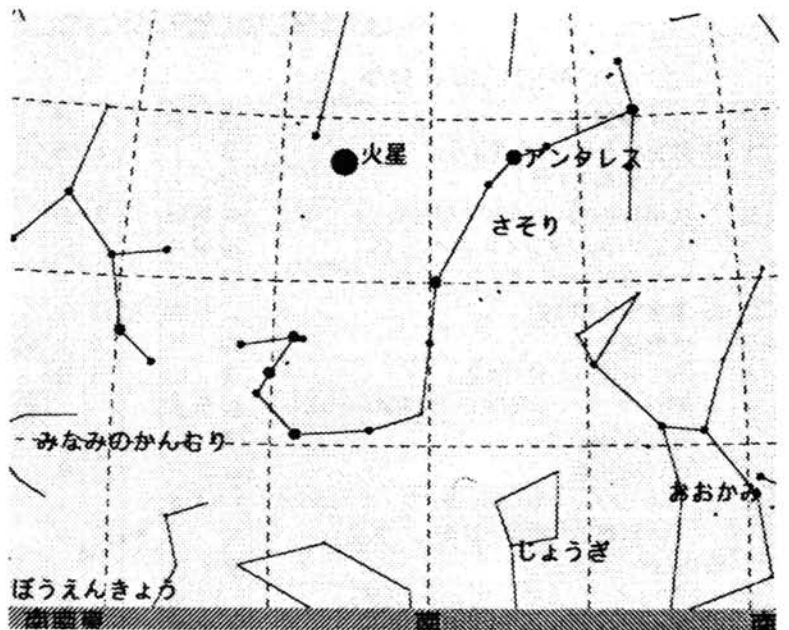
火星接近でも、接近ごとに度合いが異なります。これは火星の軌道にかたよりのためです。火星の軌道と地球の軌道との距離は、場所により5千万km～1億kmというばらつきがあるのです。どこで接近を迎えるかにより、大接近と小接近とが分かります。今回最接近となる6月22日には、距離6700万kmくらいになるので、接近の中でも近い部類に入ります。

接近時は、望遠鏡では大きな火星が楽しめます。オレンジ色の表面にあるやや暗い色の模様や、南北極の白っぽい部分などが見やすくなります。6月中は上旬なら深夜0時前後、下旬は夜11時前後が観測しやすい時間帯になります。博物館では夏休みに望遠鏡で火星を眺める会を下記のとおりに予定しています。お近くの方はぜひご利用下さい。

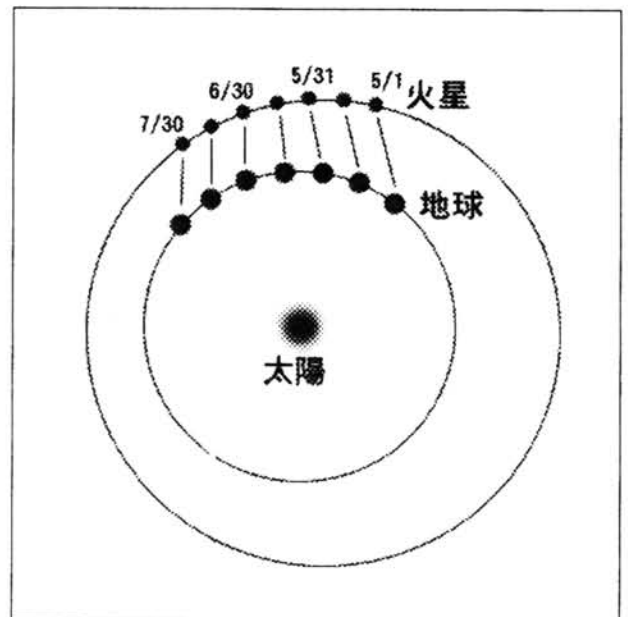
夏休みの「星を見る会」実施予定（参加自由）

日時：7月22日、29日、8月5日、12日

（いずれも日曜日）19:00～20:30



6月22日夜10時30分ごろの火星。(StellaNavigator Ver.5による)



地球と火星の位置関係

博物館ホームページが Yahoo! 登録サイトに

博物館のホームページがスタートして、まもなく1年になります。この間、およそ8000件近いアクセスをいただき、ありがとうございました。当初は利用案内を中心とした情報提供から始めましたが、毎月内容を加えながら、やさしい自然観察ガイドの「君も自然探偵」や、平塚ゆかりの村井弦斎、先ごろ特別展示を行なった山本登氏の古写真の解説などがそろい、内容も充実してきました。今春には「Yahoo!きっず」、5月には「Yahoo!」の登録サイトになりました。ホームページの利点は、ページの制約があまりないこと、紙のようにスペースをとらないことなどがあげられます。双方向性・情報量など、まだまだ発展途上のページですが、より役立つページをめざしますので、これからも、下記アドレスをぜひご利用下さい。

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>



博物館カレンダー

＜平成13年 6月＞

1	金	古文書講読会	講 堂
2	土	◎星を見る会「月を見よう」	屋 上
		天体観察会「月」	屋 上
3	日	民俗探訪会「生麦蛇も蚊も祭り」	鶴見区
		水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
5	火	★全館燻蒸(6月14日まで休館)	博物館
9	土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
10	日	地質調査会	野 外
14	木	石仏を調べる会「調査」	真 田
15	金	☆寄贈品コーナー「平塚の戦災と空襲展」(～9月16日)	展示室
		古文書講読会	講 堂
16	土	地質調査会	科学室
		☆プラネタリウム「太陽の動き・星の動き」(～7月15日)	プラネ室
		天体観察会「星図と星表・二重星」	屋 上
17	日	◎ろばたばなし	展示室
19	火	☆プラネタリウム学校投影(～3月)	プラネ室
20	水	民俗探訪分科会	特研究室
		裏打ちの会	科学室
21	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
22	金	古文書講読会	講 堂
23	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○こども観察会「アオバトを見よう」	大磯町
24	日	古代遺跡を探す会	広 川
		相模川の生い立ちを調べる会「根府川石の採石場」	根府川
28	木	石仏を調べる会「カード整理」	特研究室
29	金	古文書講読会	講 堂

☆：展示（無料）プラネタリウム（観覧料）
○：申込制 ◎：自由参加 無印：会員制

＜平成13年 7月＞

1	日	水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
4	水	民俗探訪分科会	特研究室
5	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
6	金	古文書講読会	講 堂
8	日	地質調査会	科学室
12	木	石仏を調べる会「編集作業」	特研究室
13	金	古文書講読会	講 堂
14	土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
15	日	民俗探訪会「諏訪神社湯立獅子舞」	箱根町
		◎ろばたばなし	展示室
		○みんなで調べよう「身近な林調べ」	野 外
18	水	民俗探訪分科会	特研究室
		裏打ちの会	科学室
19	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
		相模川の生い立ちを調べる会「幕岩と太郎坊」	富士山
20	金	☆夏期特別展「相模国のお城」(～8月31日)	特展室
21	土	☆プラネタリウム「赤く燃える星」(～9月2日)	プラネ室
		天体観察会「火星」	屋 上
22	日	古代遺跡を探す会	科学室
		◎星を見る会「夏の大三角と火星」	屋 上
		天体観察会「月と火星」	屋 上
25	水	◎夏休み自由研究相談会	科学室
26	木	石仏を調べる会「編集作業」	特研究室
		○自然観察入門講座「街の石材調べ」	市 内
27	金	古文書講読会	講 堂
		○自然観察会「相模湾の海鳥」	相模湾
		○自然観察入門講座「街の石材調べ」	市 内
		○プラネタリウム番組を作る会	プラネ室
28	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		地質調査会	野 外
29	日	◎星を見る会「月と火星を見よう」	屋 上
		天体観察会「月と火星」	屋 上

＜展示・プラネタリウム＞

☆寄贈品コーナー「平塚大空襲」

昭和20年7月16日～17日の平塚大空襲について検証します。
期 間：6月15日（金）～8月15日（水）

☆2階ポスト特別展コーナー「山本登写真展」

先頃好評を博した「思いでの風景 思いでの人びと」展の会場を2階に移し、昭和20～30年代の平塚の風景写真を45枚展示しています。どうぞご覧ください。
期 間：9月2日（日）まで

☆プラネタリウム「太陽の動き・星の動き」

その日の星空と、太陽や星の動きについて説明します。
期 間：6月16日（土）～7月15日（日）
投影日：土・日曜日の11時と14時

＜参加者募集＞

○こども観察会「アオバトを見よう」

日 時：6月23日（土） 8時～11時30分
場 所：大磯町照ヶ崎海岸
申 込：往復ハガキに住所・氏名・学年・電話番号を記入し、6月15日（金）までに博物館へ
定 員：30名（小中学生と保護者に限る）

＜自由参加行事＞

◎星を見る会「月を見よう」

最も見ごたえのある月齢10の月面を眺めます。
日 時：6月2日（土）19時～20時30分
場 所：博物館科学教室・屋上

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたりします。
日 時：6月9日（土）9時30分～11時
場 所：平塚虹ヶ浜海岸
申 込：参加自由ですが、初めてのの方は往復はがきで申し込んでください。集合場所等をご案内します。

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で民話を聞きませんか。
日 時：6月17日（日）①13時30分～ ②15時～
場 所：展示室民家

＜休館のお知らせ＞

博物館の資料を徹や虫害から護るために、全館燻蒸消毒を行いますので、6月5日（火）～14日（木）まで休館させていただきます。

あなたと博物館 26巻 3号 通算293号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/